

# 民進代表選

# 蓮舫氏が出馬検討

## 野党共闘「継続」焦点

9月の民進党代表選を巡り、蓮舫代表代行が立候補に向けた検討に入った。党内の各グループは候補擁立に向けた動きを活発化させているが、蓮舫氏の出馬には、党内主流派、非主流派それぞれから期待する声が出ている。

蓮舫氏は2日夜、自身が所属する野田前首相のグループの会合に出席した。代表選への対応を巡って意見交換したとみられる。蓮舫氏は1日には、2015年の民進党代表選で岡田現代

表を支持した旧社会党系グループの赤松広隆前衆院副議長や旧民主党系グループだった川端達夫衆院副議長らと会談。立候補に必要な20人の推薦人を巡り、協力が得られるか感触を探った

との見方が出ている。赤松氏ら主流派は、岡田氏が進めてきた、共産党を含む野党共闘路線を評価している。主流派の中には、執行部の一員の蓮舫氏が後任代表になれば、岡田氏の路線も継続するとの期待感がある。ある主流派のベテラン議員は1日に蓮舫氏と会談し、「岡田氏が築いた基礎の上で体制を一新すれば、国民に訴えるものがある」と求めた。

蓮舫氏に期待する声は、路線転換を求める保守系議員の一部からも出ている。民進党は2日の両院議員総会で、代表選を9月2日告示、15日投開票とすることを正式に決めた。

### 岡田執行部



### 民進党代表選を巡る主なグループの動き

#### 保守系・非主流派

**出馬意欲**  
前原グループ (約25人) 前原誠司氏

**出馬意向**  
長島グループ (約5人) 長島昭久氏

細野グループ (約15人) 細野豪志氏

路線転換を要求

蓮舫氏に期待する声は、路線転換を求める保守系議員の一部からも出ている。

共闘路線を継続する立場では、長妻昭代表代行も出馬に意欲を示しており、15年代表選で支援を受けた議員などを訪ね、情報収集を進めている。周辺には「お盆までには対応を判断した

い」と語っている。若手議員に擁立論が出ている玉木雄一郎衆院議員は2日、都内で旧維新の党出身議員のグループを率いる江田憲司代表代行と会談した。玉木氏は「党が変わる覚悟で代表選に臨みたいし、そのリスクを取る考えもある」と立候補に意欲を見せたという。